

発言No.

7

受付No. 16

令和4年2月15日

10時45分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 11番

氏名 小川稔宏

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

「石見の昭和」など浜田の懐かしい風景写真をみると、まちには賑わいがあり、祭りや地域が支えあい、さほど裕福でなくても職場旅行や家族旅行にも行けていた、ゆとりの暮らしの時代があった。子どもも多く若者も生き生きしていたが、今や若年層の人口比率は世界最低レベルにまで低下している。国が進めた地方創生、官から民への流れや規制緩和、行政改革の推進は、年功序列型賃金と終身雇用の崩壊と非正規・不安定雇用を拡大させ、若者に生きづらい社会を押し付け、少子化、過疎化を加速させたと思われる。脆弱な地域経済の下での貧困・格差がコロナ禍で顕在化しており、公助の取組こそ必要と考える。

1. 若者対策と協働のまちづくりについて

若者に安定した雇用とゆとりある働き方を保障することが結婚や出産、ひいては人口減少問題の解決につながると考える。

- ①市や外郭団体職員等、公的部門の正規雇用を増やすべきと考えるが市長の所見を伺う。
- ②ゆとりある人員配置を実現することで、自治会・町内会活動や消防団をはじめ、協働のまちづくりも進むのではないかと考えるが市長の所見を伺う。

2. 生活保護申請への対応状況について

セーフティネットの生活保護制度を、生活保護基準を下回る低所得世帯のうち2~4割しか利用していないといわれている。コロナ禍で生活困窮は深刻化しているにもかかわらず生活保護率は上がらない背景に、扶養照会が申請時の壁になっているといわれている。

- ①コロナ前と比較しての申請件数の変化について伺う。
- ②2021年3月30日付、生活保護の扶養照会に関する厚生労働省事務連絡の趣旨を踏まえた生活保護申請時の対応状況について伺う。

3. 鉄道路線の存続に対する考え方について

JR米子支社の3月ダイヤ改正では大幅な減便となるが、利便性低下にとどまらず出雲市以西のJR山陰線の存続すら危ぶまれる状況にある。地域公共交通の根幹としての鉄道存続は地域の存亡につながりかねない重要課題であり、実効性ある取組が求められる。

- ①鉄道路線存続に対して様々な議論があるなかでの市長のとして現状認識を伺う。
- ②沿線首長との連携強化や国・県への働きかけなど今後の対応について伺う。

発言No.

8

受付No.

6

令和4年2月15日

9時47分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 4 番

氏名 三浦大紀

答弁を求める者

(○をつける)

○市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

現在、地方社会が考えなければならないのは「選択と集中」であり、限られた資源の分散投資は、目指す将来像を曖昧にしてしまう。テーマを明確に設定して、地域の総意を獲得していくための活動が必要ではないか。当市の考え方とその支援策について以下質問する。

1 浜田市の成長戦略について

- ① 浜田市における成長産業をどの分野と捉えているか。
- ② 地域内の当該活動を促進させる方法をどのように考えているか。

発言No. 9

受付No. 12

令和4年2月15日

10時25分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 3番

氏名 大谷 学

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 ふるさと郷育について

(1) ふるさと郷育の推進に向けた提案について

① 12月定例会議における議員提案については、「推進に向けては考えてみる」との前向きな答弁であったが、その後の状況について伺う。

2 学校教育の充実について

(1) 2022年度から小学校高学年で始まる「教科担任制」について

① 昨年12月に、新年度950人の増員が決まり今後4年間で3800人程度の増員を見込んでいるとの文部科学大臣から発表があったが、浜田市においては今後どのような配置となる見込みかを伺う。

② 学級数が11学級以下の小規模校には配置が難しいと予想されるが、このような場合の対応策を伺う。

(2) 理数教育の充実について

① 令和4年度から小中学校において全国学力テストに理科が追加されるが、各学校における準備状況について伺う。

② 理科教育振興法に基づく小中学校の理科教育設備の整備状況について伺う。

③ 理科の実験や観察に必要な備品や設備の調達や管理及びメンテナンスについては、どのような役割分担によって行われているか、その現状について伺う。

3 道路の改良整備について

(1) 県道の改良整備に対する浜田市の取組について

県東部と比較し、人口が少なく高低差が大きい土地柄のためか、生活や産業の基盤となる県道の改良が遅れ、離合困難でカーブだらけの全幅1車線の区間が目立つようを感じる。全幅1車線の道路は命に関わる救急搬送や定住に向けても支障をきたすため、これを解消し利便性を高めることは、重要な課題の1つとすべき事項である。

① 市長の県道の整備に対する認識を伺う。

② 県道の改良に向けて、市としての県への要望優先順位の策定の考え方を伺う。

発言No.

10

受付No.

2

令和 4 年 2 月 14 日
9 時 10 分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 19 番

氏名 田畠 敬二

答弁を求める者 ○市長 教育委員会委員長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 ふるさと体験村の活用方針（案）の考え方について

- ① 2月7日の全員協議会で説明のあった体験村整備方針を伺う。
- ② 管理棟（里山）、古民家（桑田、箸立）、ログハウス（5棟）の改修内容が示されたが、他の14か所の建物や設備等の対策を伺う。
- ③ 数値目標に、イベント・体験で21回×15人=315人とあるが、どのようなイベントや体験かを伺う。
- ④ 屋外トイレや水車小屋についてはどのような考え方か伺う。
- ⑤ 令和5年度から指定管理者として指名予定である運営委託組織の実態を伺う。

2 BCP（事業継続計画）について

議会改革推進特別委員会では議会BCPの作成に取り組んでおり、全国市議会議長会フォーラム『大災害・感染症と議会』の動画視聴を終えて、あらためて市議会として取り組む必要があると感じた事項について伺う。

- ① 浜田市におけるBCP（事業継続計画）の取組み状況を伺う。
- ② BCP（事業継続計画）の内容を市民に周知すべきと考えるが実情を伺う。
- ③ 大規模災害時の市としての取組み計画を伺う。
- ④ 感染症の取組について伺う。

発言No.

受付No.

令和 4 年 2 月 15 日

10 時 20 分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 2 番

氏名 村木勝也

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 第2次浜田市総合振興計画後期計画(地域振興部門)について

(1) 島根県が推し進めている「小さな拠点づくり」との整合性について

- ① 「小さな拠点づくり」とはどのような事業かお聞きします。
- ② この事業にはどのような補助事業等があるのかお聞きします。
- ③ 「小さな拠点づくり」事業と第2次浜田市総合振興計画後期計画との関係をお聞きします。

(2) 主要施策「1 人づくりと推進体制の整備」について

- ① 令和4年度における「1 人づくりと推進体制の整備」に係る事業をお聞きします。
- ② 合併時の新市まちづくり計画における「人材育成」の考え方をお聞きします。
- ③ 浜田市としてどのような「人材を育成」するお考えなのかをお聞きします。

(3) 主要施策「2 活動支援の充実」について

- ① 令和4年度における「2 活動支援の充実」に係る事業をお聞きします。
- ② 目標において、市民協働活性化支援事業の申請件数を挙げておられますがこの事業の内容と目標にした理由をお聞きします。

(4) 主要施策「3 地域自治の強化」について

- ① 令和4年度における「3 地域自治の強化」に係る事業をお聞きします。
- ② この項目の目標が「地区まちづくり推進委員会」と「町内会・自治会」に関わるものとなっています。浜田市における「地区まちづくり推進委員会」と「町内会・自治会」の役割や違いをお聞きします。
- ③ 「地区まちづくり推進委員会」と「町内会・自治会」それぞれに、浜田市全体や各地域に連携組織があるのかお聞きします。

(5) 主要施策「4 協働の仕組みづくり」について

- ① 令和4年度における「4 協働の仕組みづくり」に係る事業をお聞きします。
- ② 地域協議会と地区まちづくり推進委員会との関係をお聞きします。

(6) 4つの主要施策の周知・取組について

- ① 事業の内容説明及び目標に近づけるため市は、どのような取組をするかお聞
きします。
- ② 市民一人一人、企業や団体、地域は、目標に近づくためどのような取組を期
待しますか。

発言 NO

12

受付 NO

15

令和4年 2月 15日
10 時 43分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 12 番

氏名 上野 茂

答弁を求める者 市長 教育委員会委員長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員地域地

発言項目及び要旨

1. 浜田を元氣にする取組について

(1) 人口減少対策について

- ① 市長の過去8年間の「元気な浜田づくり」についての取組の自己評価について伺う。
- ② 若者の暮らしを支える雇用の場の確保、企業誘致の実績と今後の取組について伺う。
- ③ 浜田港を活かした産業振興の現状と今後の取組について伺う。
- ④ 島根あさひ社会復帰促進センター施設がもたらす地域の活力・雇用創出など、経済効果は大きいと考える。地域との「共生」開設から10年を超すが、もっと連携して地域の活性化何かできないか、ご所見を伺う。

2. 中山間地域の現状と今後の振興施策について

(1) 儲かる農業の推進について

これまで儲かる農業の実現に向けて、支援等してこられたが、

- ① 市長の過去8年間の農林業の振興対策の自己評価について伺う。
- ② 新型コロナ感染症の拡大で内食が高まっている。今こそ地産地消の推進にJA、産直市等と連携して力を入れるべきと考える。ご所見を伺う。
- ③ 森林環境譲与税を活用した林業の活性化に向け今後の市の考えを伺う。
- ④ 耕作放棄地は条件の良くない土地が多いが、広葉樹の植林など対策、支援について伺う。

(2) 誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりについて

- ① 高齢化、免許返納等で買い物弱者が増えている。対策について伺う。
- ② 感染症等発生した場合の介護施設の連携について伺う。
- ③ 米軍機の飛行訓練について今後の対応を伺う。

